

SONY®

FM/AM ミニディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MDX-C8200

© 1998 by Sony Corporation



安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書と別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



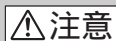
- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡やけがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意	4
---------	---

▶ 準備

まず、本機をリセットする	7
時計を合わせる	8
SHIFTボタンについて	9
放送局を自動で登録する	10

▶ ここだけ読んでも使えます

MDを聞く	11
ラジオを聞く	15

▶ MD

いろいろな聞きかた	17
聞きたい曲を好きな順番で聞く (プログラム)	19
プログラムを変える	23

▶ ラジオ

特定の放送局を登録する	25
放送局に名前をつける	26
放送局を名前で探す(リスト)	28

▶ その他の操作

ロータリーコマンドの操作	29
音質や音のバランスを調節する	31
音や表示などの設定を変える	32

付録

システム接続をするときのご注意	61
使用上のご注意	62
各部のなまえ	65
故障かな?	67
保証書とアフターサービス	70
主な仕様	71
索引	72

別売りの機器を接続すると

▶ CD/MD

機器内のCD/MDを聞く	33
聞きたいディスクを選ぶ	34
繰り返し聞く(リピート)	34
曲順を変えて聞く(シャッフル)	35
CDに名前をつける(ディスクメモ)	36
CDの聞きたい曲だけを選ぶ(バンク)	38
ディスクを名前で探す(リスト)	40

▶ DSP

サラウンド効果を選ぶ	41
サラウンド効果の反射音・ 残響音を調節する	42
CDごとにサラウンド効果を登録する (DSPカスタムファイル)	43
リスニングポジションを選ぶ	44
前後のスピーカーバランスを調節する	46
サブウーファの音量を調整する	46
低音・高音の音量を調節する	48
前回と同じサラウンド効果で聞く (ラストサウンドメモリー)	49
ラインアウトのレベルを選ぶ	49

▶ テレビ・ビデオ

テレビを見る	50
ビデオを見る	51
ラジオ局・テレビ局の一覧を見る	52
CD/MDの情報を見る	53
テレビやビデオを見ながらCD/MDの音を 聞く(サイマルプレイ)	54

▶ CD/CD-ROM

音声を切り換える	55
----------	----

▶ 携帯電話

電話をかける	56
電話を受ける	57
その他の操作	58
その他の設定	59
ロータリーコマンドでの操作	60



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で実装するときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく実装してください。正しい実装をしないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

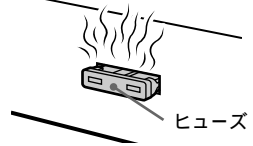


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。また、実装場所が助手席用エアバックシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



禁止



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



禁止



はじめに

本機では、MDとラジオを聞くことができます。ロータリーコマンダーも付属していて、お手元で簡単に操作することができます。

別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。以下の機器が組み合わせられます。

- CD機器、MD(ミニディスク)機器
- CDプレーヤー、CD/CD-ROM機器
カスタムファイル機能がCDチェンジャーおよびCDプレーヤーで、プログラム機能がプログラム演奏機能付きCD/MD機器で可能。
- テレビチューナー、ビデオ
- デジタルプリアンプ
- FM文字多重放送ディスプレイユニット
- グラフィックイコライザー付DSP
- グラフィックイコライザー付CDプレーヤー
- 携帯電話用ハンズフリーキット

安全運転のためのボイスガイド

本機にはボイスガイド機能が装備されています。

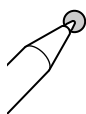
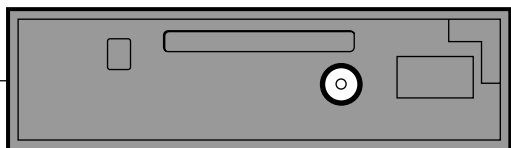
ボイスガイド機能を使うと、ボタン操作をするたびにその操作に関するコメントが音声で流れるので、前方から視線をそらさず操作の確認ができます。

ボイスガイドの機能について

- 別売りのパワープリアンプを接続した場合、機種によっては音声コメントのはじめの部分がとぎれることがあります。また、別売りのMD機器を接続した場合、2枚目のMDの音声コメントのあとに1枚目のMD演奏が短い間続くことがあります。
- 次の別売り製品を接続すると、ボイスガイド機能は動きません。
 - DSPコントロールユニット XDP-U50D
 - DSPコントロールユニット XDP-U50DMk2
 - グラフィックイコライザー付DSP XDP-600EQまたはXDP-210EQ

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのCD/MD機器、XDP-U50D、テレビ、ビデオ、または携帯電話を接続した場合の操作方法についても説明しています(33ページ～)。

まず、本機をリセットする

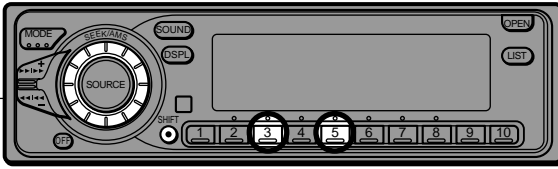


初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

- リセットボタンを押すと、時刻の他、登録した内容で消えるものがありますので、登録し直してください。
- ACCポジションのある車でお使いの時(本機のパワーセレクトスイッチが④の位置の時)にリセットボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。この場合は、各ソースボタンを押して、本機の電源を入れてください。デモンストレーション表示は解除され、次にリセットするまで表示しなくなります。

時計を合わせる



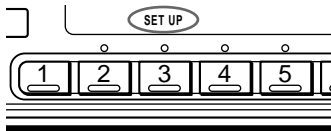
SET UP (セットアップ)

1 車のイグニッションキーをONにする。

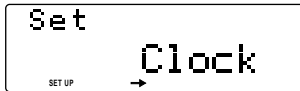


2 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

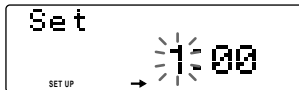
SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が
ます。



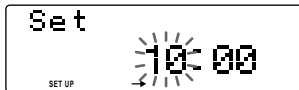
3 数字ボタン3 (SET UP) を押す。



① 数字ボタン5 (→) を押す。



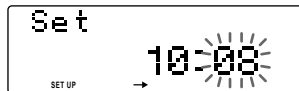
② ダイヤルで「時」を合わせる。(時計は12時間表示)



③ 数字ボタン5 (→) を押す。



④ ダイヤルで「分」を合わせる。



⑤ SHIFTボタンを押す。



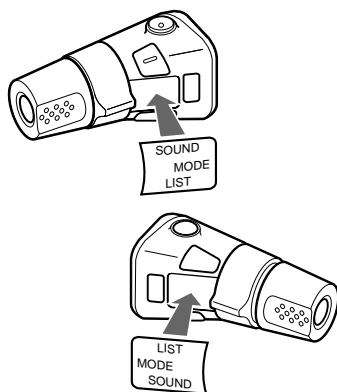
4 最後に、SHIFTボタンを押す。

SHIFTボタンについて

本機を操作するとき、SHIFTボタンを押すと、1～10のボタンは、上に機能表示が出て各機能の操作ボタンに変わります。

各設定等を行った後はSHIFTボタンを押してもとに戻します。

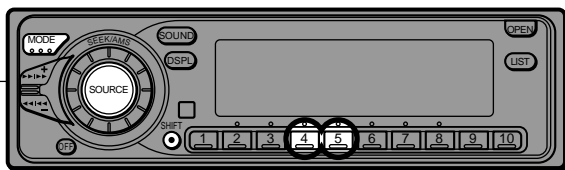
ロータリーコマンドーのシールについて



本機には、ロータリーコマンドーが付属しています。ロータリーコマンドーの取り付けについては別冊の説明書を、操作については「ロータリーコマンドーの操作」(29ページ)をご覧ください。

ロータリーコマンドーを取り付けた向きに合わせて、シールを貼ってください。

放送局を自動で登録する



受信できる局を数字の1～10ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。テレビ放送(1～3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンド(FMまたはAM)に切り換える。



3 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



4 数字ボタン4 (PLAY MODE) を繰り返し押して、「B.T.M」を表示する。



5 数字ボタン5(→)を押す。

「B.T.M」(ベストチューニングメモリー)と表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。



6 最後に、SHIFTボタンを押す。

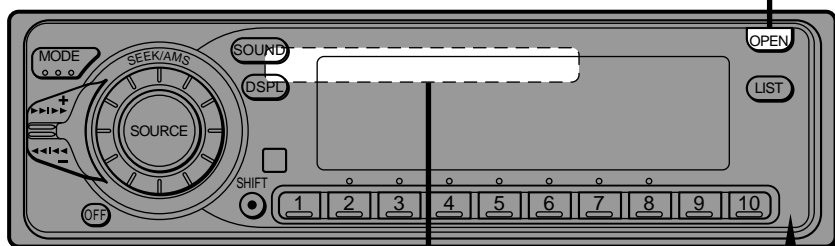
ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されているときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

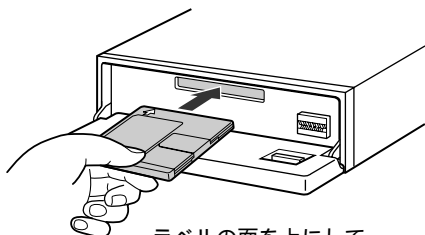
MDを聞く

ここは必ず読んで
使えます

1 フロントパネルを 開ける

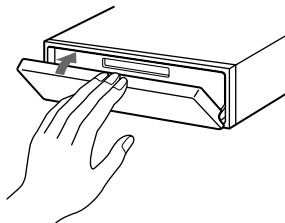


2 MDを入れると再生が 始まります



ラベルの面を上にして
矢印の向きにいれます。

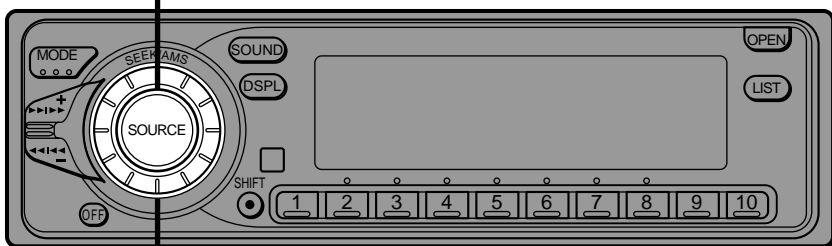
3 フロントパネル を閉める



次のページへつづく

MDを聞く(つづき)

MDが入っているときに押して
「MD」を選ぶと再生が始まる
(^{ソース}SOURCEボタン)



音量を調節する

* 本機は電話使用時やナビゲーションの案内音声があるときに音楽の音量を自動的に下げます(ATT機能)。ただし、ATTまたはミュート出力コードの付いたカーナビゲーションシステムを接続した場合です。VOLダイヤルで音量を上げると解除されます。

本機ではMDに記録されたディスク名・曲名がアルファベット、数字およびカタカナのみ表示できます。

ご注意

- 漢字・ひらがな入力されたMDを再生した場合は、「NO D.Name」「NO T.Name」と表示されます。
- カタカナ表示に対応していないMDチェンジャーの情報はカタカナ表示はできません(くわしくは33ページをご覧ください)。
- 次の別売り製品では、MDのディスク名・曲名が正常に表示されません。
 - FM文字多重放送ディスプレイユニットFMX-77
 - TVチューナーXT-40Vのモニター

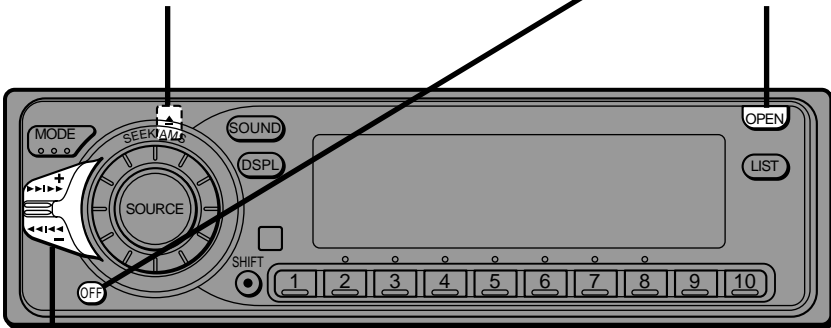
MDを取り出す

イジェクト
(▲ボタン)

止める / 電源を切る

オフ
(OFFボタン)

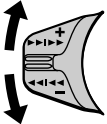
フロントパネル
を開ける



聞きたいところを探す

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSつまみ)

先に進める



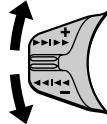
前に戻す

上下に押しつづけ、聞きたいところで
離します。

曲の頭出しをする

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSつまみ)

次の曲へ

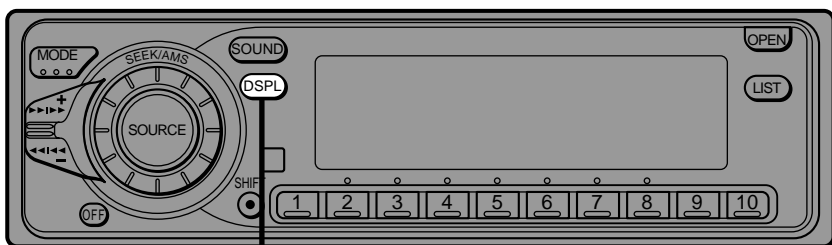


曲の頭や前の曲へ

とばしたい曲の数だけ短く押します。

次のページへつづく

MDを聞く(つづき)



表示の見かた ディスプレイ (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



*1 ディスク名が記録されていないときは、「NO D.Name」と表示後、再生経過時間表示になります。

曲名が記録されていないときは、「NO T.Name」と表示後、再生経過時間表示になります。

*2 再生経過時間、ディスク名、曲名、時計を順に繰り返し表示します。

ラジオを聞く

ここには読んで
使えます。

1 ラジオに切り換える



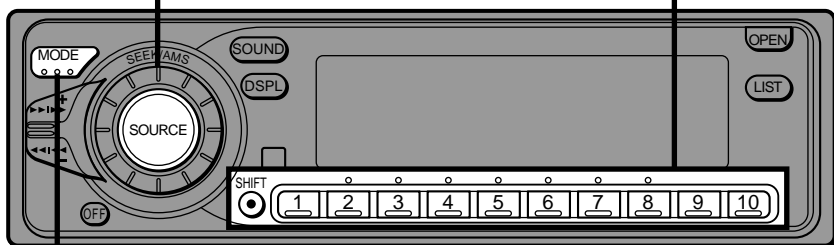
3 聞きたい放送局のボタンを押す(放送局を登録してあるとき)



登録のしかたについては、10ページ参照。

ご注意

SHIFTボタンが押されていて、数字ボタンの上に「SET UP」および「PLAY MODE」表示が出ているときは、数字ボタンで選択はできません。この場合は、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。



2 聞きたいバンドに切り換える



押して「FM」または「AM」を選びます。

FM放送局が混信するとき

受信している周波数の近くにほかの放送局があり、混信するときに設定します。音質を優先するときは「Wide」、混信を防ぐときは「Narrow」にしてください。通常は「IF Auto」にしておくと自動で「Wide」と「Narrow」が切り換わります。

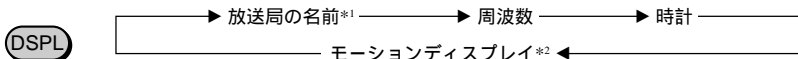
- 1 FM受信中にSHIFTボタンを押す。
- 2 数字ボタン4(PLAY MODE)を繰り返し押し、「IF Auto」を表示させる。
- 3 数字ボタン5(→)を押して設定を変える。
- 4 最後にSHIFTボタンを押す。

次のページへつづく

ラジオを聞く(つづき)

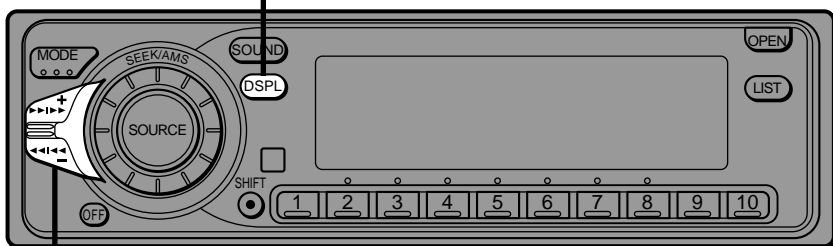
表示の見かた ディスプレイ (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



*1 名前を登録していないときは「NO Name」と表示後、周波数表示になります。ボタン操作のあと、表示切り換えが遅れることもあります。

*2 周波数、放送局の名前、時計を順に繰り返し表示します。



旅先などで、登録した局が受信できないとき (自動選局を使う)

SEEK/AMSつまみを上下に短く押し離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい局が受かるまで、繰り返しつまみを上下に押します。



- 聞きたい局がわかっているときは、その局の周波数になるまでSEEK/AMSつまみを上下に押したままにします。
 - 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い局だけを受信します。
- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
 - 2 数字ボタン4 (PLAY MODE)を押してLocal表示にする。
 - 3 数字ボタン5 (→)を押して「Local on」表示にする。
 - 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

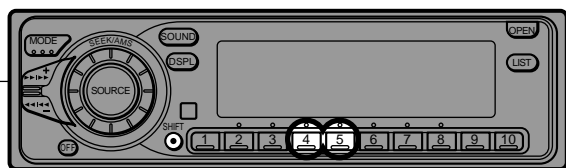
ふいつうの受信に戻すには、手順3で「Local off」を選びます。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
- 2 数字ボタン4 (PLAY MODE)を押してMonoを表示する。
- 3 数字ボタン5 (→)を押して「Mono on」を表示する。
- 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

いろいろな聞きかた



PLAY MODE(プレイモード)

聞きたい曲を選ぶ(イントロ)

ディスクの全曲を最初の10秒ずつ再生して、聞きたい曲を探すことができます。



1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示ができます。(「SET UP」, 「PLAY MODE」など)



2 数字ボタン4(PLAY MODE)を押してIntroを表示する。



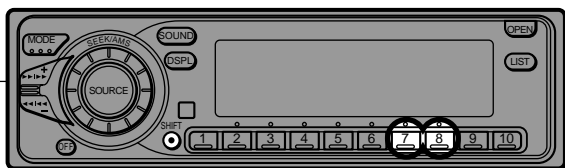
3 数字ボタン5(→)を押して「Intro on」表示にする。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「Intro off」表示にします。

いろいろな聞きかた(つづき)



リピート/シャッフル

繰り返し聞く(リピート)

1 曲のみを繰り返し聞くことができます。



1 SHIFTボタンを押して「REP」を表示する。



2 数字ボタン(REP)を繰り返し押して、「Repeat 1」表示にする。



3 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「Repeat off」表示にします。

曲順を変えて聞く(シャッフル)

再生中のディスク全曲の曲順を変えて聞くことができます。



1 SHIFTボタンを押して「SHUF」を表示する。



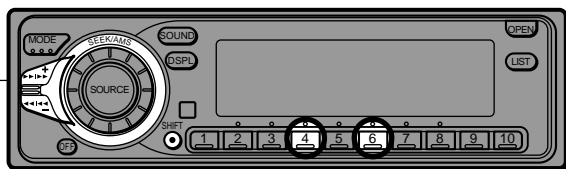
2 数字ボタン(SHUF)を繰り返し押して、「Shuf 1」表示にする。



3 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「Shuf off」表示にします。

聞きたい曲を好きな順番で聞く



プログラム

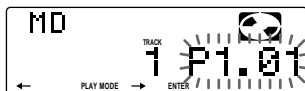
ディスクの中から好きな曲だけを集めてオリジナルのプログラムを楽しめます。プログラムは、2種類組むことができ(PGM1とPGM2)、それぞれのプログラムで聞きたい順番に12曲まで登録できます。一度登録したディスクは、ディスクを入れ換えても、最初に指定した順番のまま再生されます。

プログラムを登録する



- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
- 2 数字ボタン4 (PLAY MODE) を2秒以上押す。

PGM1の表示

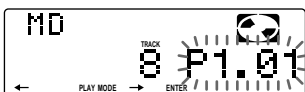


PGM2に登録したいときは、数字ボタン5(→)を押して「P2」表示にします。

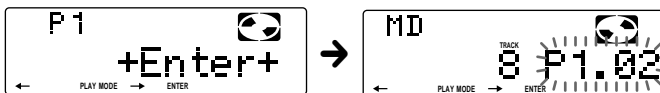


- 3 SEEK/AMSつまみを上下に押して登録したい曲を再生する。

8曲目をPGM1の1番目に登録するとき



- 4 数字ボタン6 (ENTER) を短く押して登録する。



次のページへつづく

聞きたい曲を好きな順番で聞く(つづき)

PLAY MODE



SHIFT



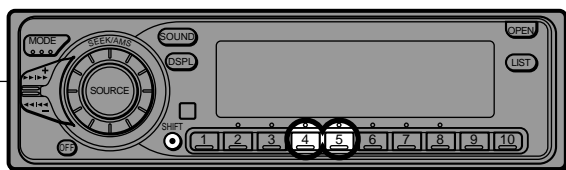
5 手順3と4を繰り返し、聞きたい順番に登録する。

6 数字ボタン4 (PLAY MODE) を2秒以上押す。

7 最後に、SHIFTボタンを押す。




ご注意

- 「* Wait *」: 登録した曲の情報を読み取っていない場合に表示されます。
- 「* Mem full *」: 13曲登録しよう则表示されます。
- 「PGM」設定にすると、イントロ・リピート・シャッフル機能は解除されます。




プログラム

プログラムを聞く

- 
1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
- 
2 数字ボタン4 (PLAY MODE) を押してPGM表示にする。
- 
3 数字ボタン5 (→) を押して聞きたいプログラムに切り換える。

表示	再生
PGM1	プログラム1を再生する
PGM2	プログラム2を再生する
PGM1+2	プログラム1と2をつづけて再生する
PGM off	ふつうの再生に戻る

PGM1のみ登録してあるときは、「PGM2」および「PGM1+2」表示はされません。

- 
4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- 「No Data」: プログラムが登録されていない場合に表示されます。
- 「Not ready」: プログラムを登録したディスクが入っていない場合に表示されます。

聞きたい曲を好きな順番で聞く(つづき)

プログラム

プログラムを消去するには

- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示します。
- 2 数字ボタン4 (PLAY MODE) を2秒以上押します。
- 3 「DEL」表示が出るまで数字ボタン2 (←) を押します。

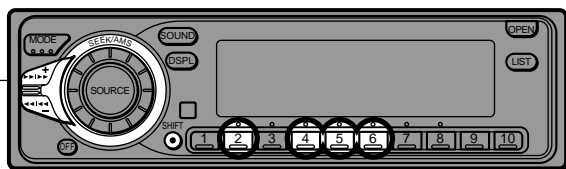


PGM2の場合は「DEL --PGM2--」

PGM2に切り換えるときは、数字ボタン5 (→) を押して「PGM2」表示にします。

- 4 数字ボタン6 (ENTER) を2秒以上押します。
「NO Data」と表示され、指定したプログラムの曲はすべて消えます。
- 5 数字ボタン4 (PLAY MODE) を2秒以上押します。
- 6 最後に、SHIFTボタンを押します。

プログラムを変える



プログラム

MD

曲を追加する



1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

PLAY MODE



2 数字ボタン4 (PLAY MODE) を2秒以上押す。

PGM2に追加するとき、数字ボタン5 (→) を押して「P2」表示にします。

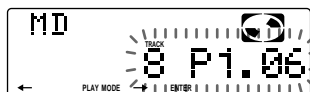
ディスクメモをつけたCDの場合は、数字ボタン4 (PLAY MODE) を押してください。



3 数字ボタン2 (←) または数字ボタン5 (→) を押して何番目に曲を挿入するかを表示する。



PGM1の6番目に追加するとき



4 SEEK/AMSつまみで追加したい曲を選び再生する。



5 数字ボタン6 (ENTER) を短く押す。

新しい曲が挿入され、それ以降の曲は1つずつずれます。

他の曲を追加するときは、手順3～5を繰り返します。

全体の曲数が12を超えると「* Mem full *」と表示され、それ以上登録出来なくなります。

PLAY MODE



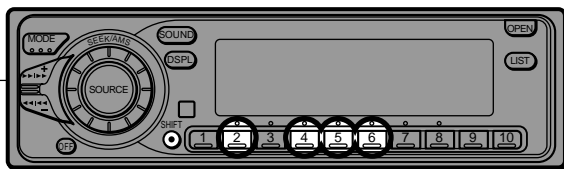
6 数字ボタン4 (PLAY MODE) を2秒以上押す。



7 最後に、SHIFTボタンを押す。

次のページへつづく

プログラムを変える(つづき)



プログラム

曲を削除する



1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



2 数字ボタン4 (PLAY MODE) を2秒以上押す。

PGM2の曲を消すときは、数字ボタン5 (→) を押して「P2」表示にします。

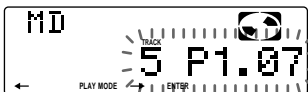
ディスクメモをつけたCDの場合は、数字ボタン4 (PLAY MODE) を押してください。



3 数字ボタン2 (←) または5 (→) を押して消したい曲を表示する。



7番目に登録されている曲(ディスクの5曲目)を消すとき



4 数字ボタン6 (ENTER) を2秒以上押す。



指定した曲が削除され、それ以降の曲は1つずつ繰り上がります。他の曲を消すときは、手順2と3を繰り返します。

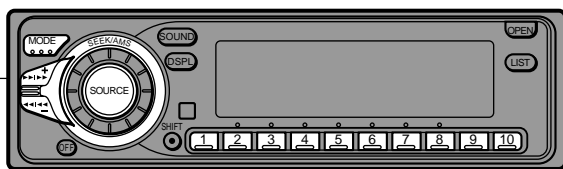


5 数字ボタン4 (PLAY MODE) を2秒以上押す。



6 最後に、SHIFTボタンを押す。

特定の放送局を登録する



放送局を自動で登録(10ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでに登録してある数字ボタンも、他の放送局に登録し直すことができます。道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM1,629kHz)を登録しておくくと便利です。



1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンド(FMまたはAM)に切り換える。



3 SEEK/AMSつまみを上下に押しして登録する放送局を受信する。

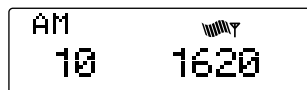


4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。

?



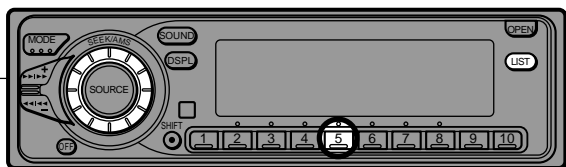
押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の局は消えてしまいます。

放送局に名前をつける



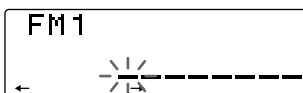
ステーションメモ

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。
最大62の放送局に、8文字までの名前をアルファベットでつけられます。

1 名前をつけたい放送局を受信する。

LIST

2 LISTボタンを表示が点滅するまで押す。



3 文字を入力する。

① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→ →
→.→_



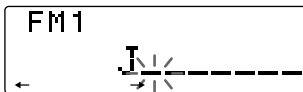
ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字の間をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。



② 文字が見つかったら、数字ボタン5(→)を押す。

次の文字を入力できるようになります。



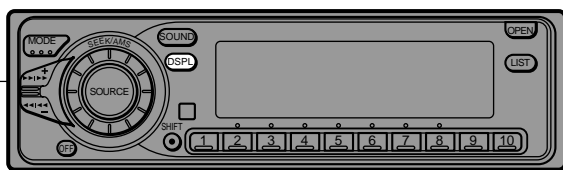
間違えたときは、数字ボタン2(←)を押して修正したい文字を点滅させて正しい文字を入れます。

③ 手順①と②を繰り返して、名前を入力する。

4 つづけて他の放送局に名前をつける場合は、その局を受信してから文字を入力する。

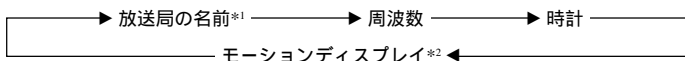
LIST

5 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。



名前を表示するには

DSPL DSPLボタンを押して名前表示に切り換える。



*1 名前を登録していないときは「NO Name」と表示後、周波数表示になります。

ボタン操作のあと、表示切り換えが遅れることもあります。

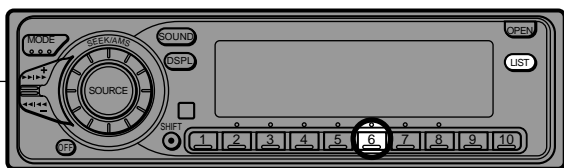
*2 周波数、放送局の名前、時計を順に繰り返し表示します。

名前を消去するには

- 1 LISTボタンを表示窓が点滅するまで押します。
- 2 DSPLボタンを2秒以上押します。
- 3 ダイヤルを回して消したい名前を表示させます。
- 4 数字ボタン6(ENTER)を名前が消えるまで押します。
- 5 LISTボタンを2秒以上押します。

「放送局に名前をつける」の手順3で、すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

放送局を名前で探す



リスト

登録した放送局が周波数を見ながら探せます。

放送局に名前をつけておくと(26ページ) 名前が表示されます。

LIST 1 LISTボタンを短く押す。

受信中の放送局の名前が点滅



名前をつけていない場合は、周波数を表示します。

LIST 2 つづけてLISTボタンを押して聞きたい放送局の名前に切り換える。

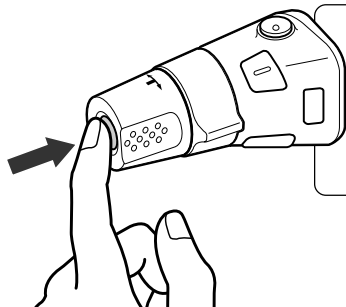
DSPLボタンを押したり、ボタンを押さないまま5秒間を過ぎると、もとの表示に戻ります。

ENTER
6 3 数字ボタン6(ENTER)を押して受信する。

ロータリーコマンドーの操作

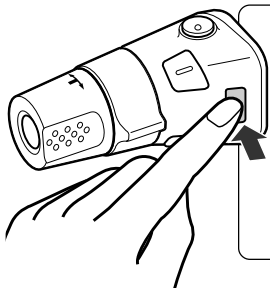
CD/MD機器やテレビは、各機器を接続しているときだけ操作できます。

押すと (ソース SOURCEボタン、 モード MODEボタン)



SOURCEボタンを押すと

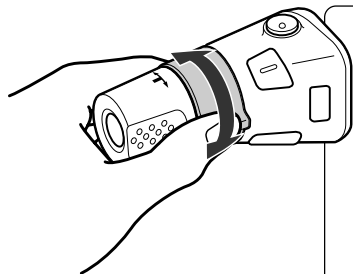
ソースがTUNER CD MD TVと切り換わる
ロータリーコマンドーのSOURCEボタンを押すと本体の電源が入ります。



MODEボタンを押すと

TUNERの時 : FM AM ...
CDの時 : CD1 CD2 ...
MDの時 : MD1 MD2 ...
TVの時 : TV Video1 Video2...
と切り換わる

回すと (シーク/エーエムエス SEEK/AMSつまみ)



CD/MD... 短く回して離すと曲の頭出しをする
回しつづけると早く送られ、離すと再生に戻る
ラジオ/テレビ...
短く回して離すと自動的に放送局を受信する
回しつづけると特定の周波数を受信する

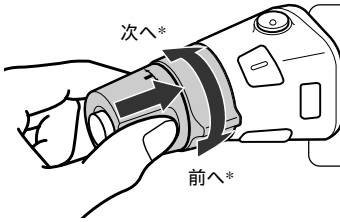
ラジオ

その他の操作

次のページへつづく

ロータリーコマンドの操作(つづき)

押しながら回すとプリセット/ディスク(PRESET/DISCつまみ)

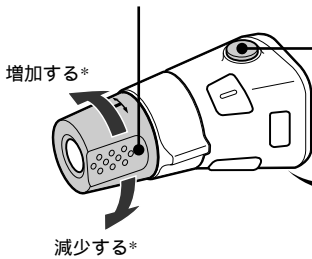


CD/MD... 機器内のディスクを切り換える
ラジオ... プリセットした放送局を順に受信する
テレビ... プリセットしたチャンネルを切り換える

* 操作方向は初期設定でハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

その他の操作

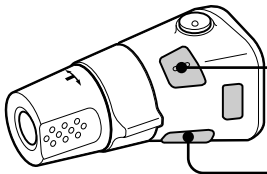
音量を調節するボリューム(VOLつまみを回す)



音量を瞬時に下げるアッテネート(ATTボタンを押す)

電源を切るオフ(OFFボタンを押す)

* 操作方向は初期設定でハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。



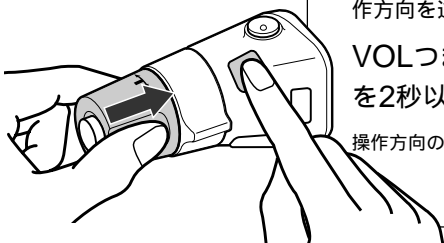
音量調節・音質選択するサウンド(SOUNDボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。(31ページ)

リストを表示するリスト(LISTボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える

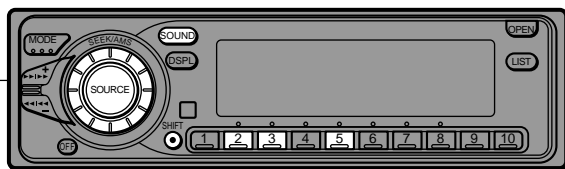


運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

VOLつまみを押しながら、SOUNDボタンを2秒以上押す

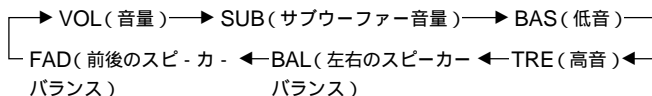
操作方向の切り換えは、本体でもできます(32ページ)

音質や音のバランスを調節する




BAS(低音) TRE(高音)はソースごとに調節できます。

SOUND 1 SOUNDボタンを押して調節したい項目にする。



2 ダイヤルを回して調節する。

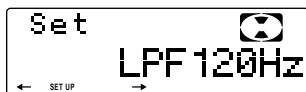
3秒以内にダイヤルを回してください。3秒を過ぎると音量調節 (VOL)に戻ります。

	VOL	SUB	BAS	TRE	BAL	FAD
	小	小	弱まる	弱まる	左へ移動	後ろ方向へ移動
	大	大	強まる	強まる	右へ移動	前方向へ移動

サブウーファースの音質を調整するには

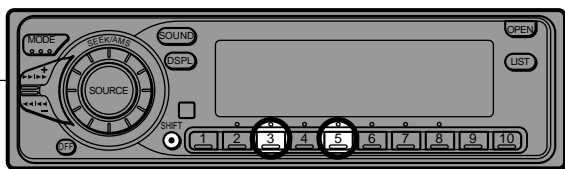
接続するサブウーファースの周波数特性に合わせて、不要な中、高音をカットできます。ただし、別売りのXDPを接続した場合は、この調整ができません。詳しくは、XDPの取扱説明書をご覧ください。

- 1 SOURCEボタンを押してソース(ラジオ、CDまたはMD)を選びます。
- 2 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示します。
- 3 数字ボタン3(SET UP)を繰り返し押して、「LPF」を表示します。



- 4 数字ボタン2(←)または数字ボタン5(→)を押してカットオフ周波数を選びます。
LPF 120 Hz ↔ LPF 80 Hz ↔ LPF off
- 5 最後に、SHIFTボタンを押します。

音や表示などの設定を変える



SET UP (セッティング)

次の設定ができます。

- 「Clock」 → 時計を合わせる。(8ページ)
- 「D.Info」 → 常に時計表示をさせる。
- 「Amber」, 「Green」 → 操作ボタンなどの照明の色を変える。
- 「Dimmer」 → 表示窓の減光を設定する。
 - 「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する。(車の照明電源に接続されている場合のみ)
 - 「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。
 - 「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
- 「Contrast」 → 表示のコントラストを変える。
- 「Voice」*¹ → ボイスガイドの音量を変える。
 - 「Voice 1」 → 「Voice 2」 → 「Voice 3」の順に音量が大きくなり、「Voice off」で音が出なくなる。
- 「Beep」 → 操作ボタンを押したときの「ピッ」という音を入・切する。
- 「RM」 → ロータリーコマンドのつまみの操作方向を切り換える。
 - 「norm」 → 初期設定の回転方向。
 - 「rev」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
- 「Loud」 → 小音量でも聞きやすいように音のバランスを補正する。
- 「LPF」 → サブウーファーの音質を調整する。(31ページ)
- 「A.Scl」*² → ディスクを入れかえたときや曲が変わったときに11文字以上の曲名やディスク名を自動的にスクロールする。「off」ではスクロールしない。

*¹XDP-U50D, XDP-U50DMk2, XDP-600EQ, XDP-210EQを接続した場合「Voice」機能は働きません。

*²「A.Scl」はMD再生中、またはCD TEXT対応の機器でCD TEXTディスクを再生した場合のみ設定が可能になります。

-  **1** SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。
-  **2** 数字ボタン3 (SET UP) を押して調節したい項目に切り換える。

Clock → D.Info* → Amber/Green → Dimmer → Contrast → Voice* → Beep → RM → Loud* → LPF* → A.Scl*

* OFF状態では表示されません。
-  **3** 数字ボタン5 (→) を押して調節したい設定にする。

(例: 「on」または「off」)

「Contrast」では数字ボタン5 (→) を押すとコントラストが強くなり、数字ボタン2 (←) を押すと弱くなります。
-  **4** 最後に、SHIFTボタンを押す。

CD/MD

別売りのCD機器やMD機器をつないで、CDやMD(ミニディスク)を再生できます。この章では、機器固有の機能について説明します。

機器内のCD/MDを聞く



1 SOURCEボタンを押して「CD」または「MD」表示にする。



2 MODEボタンを押して聞きたい機器に切り換える。

MDの場合

MD1(本体)→MD2(MD機器1)→MD3(MD機器2)

全てのディスクを順に再生します。

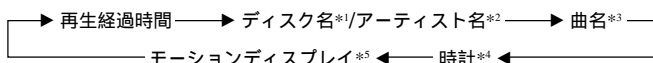
ご注意

カタカナ表示に対応していないMD機器では、カタカナのディスク名・曲名はローマ字に変換されて表示されます。また、表示されたローマ字の前後に「^」記号が付加されます。

例 BESTヒット → BEST^HI tuT0^

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換えます。



*1「NO D.Name」: CDまたはMDにディスク名が記録されていない。

*2 CD TEXTディスクを再生した場合。

*3「NO T.Name」: MDまたはCD TEXTディスクに曲名が記録されていない。

*4 D.Infoを「ON」にしたときは表示しません。

*5 再生経過時間、ディスク名/アーティスト名、曲名、時計を順に繰り返し表示します。

長いディスク名、曲名を再び見るにはSHIFTボタンを押した後に数字ボタン2(←)を押します。

ご注意

- 別売りのCD-TEXT対応CD機器を接続して、極端に文字数の多い数枚のCD-TEXTディスクを再生した場合、次のようなことがあります。
 - 何文字かが表示されない。
 - 自動的にスクロールされない。
- CD-TEXTディスクに記録されているディスク名/アーティスト名、曲名などはアルファベットと数字のみ表示できます。

その他の操作

CD/MD

聞きたいディスクを選ぶ

再生中に聞きたいディスクの番号と同じ数字ボタン
1～10を押す。



リピート

繰り返し聞く

- 「Repeat1」→ 再生中の曲を繰り返す。
- 「Repeat2」→ 再生中のディスクを繰り返す。



1 再生中にSHIFTボタンを押して「REP」表示にする。



2 数字ボタン7 (REP) を押して聞きたい設定に切り換える。



リピート演奏が始まります。

ふつうの再生にするには、手順2で「Repeat off」を選びます。



3 最後に、SHIFTボタンを押す。

曲順を変えて聞く

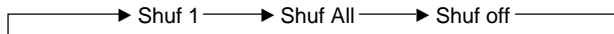
- 「Shuf1」→ 再生中のディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。
- 「Shuf All」→再生中のソースの全機器内の全ディスクの曲を順不同に再生する。



1 再生中にSHIFTボタンを押して「Shuf」表示にする。



2 数字ボタン8(SHUF)を押して聞きたい設定に切り換える。



シャッフル演奏が始まります。

ふつうの再生にするには、手順2で「Shuf off」を選びます。



3 最後に、SHIFTボタンを押す。

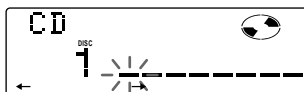
CDに名前をつける

カスタムファイル対応のCD機器の場合

CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前は機器本体に記憶され、CD110枚分を保存できます。カスタムファイルに対応している機器を1台つないでいれば、対応していないCD機器に入っているCDにも名前をつけられます。

LIST

- 1** CDを再生し、LISTボタンを表示が点滅するまで押す。

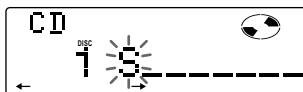


- 2** 文字を入力する。



- ①** ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→ →
→.→_



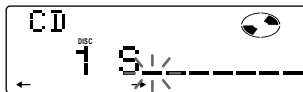
ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。



- ②** 文字が見つかったら、数字ボタン5(→)を押す。

次の文字を入力できるようになります。



間違えたときは、数字ボタン2(←)を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

- ③** 手順①と②を繰り返し、名前を入力する。

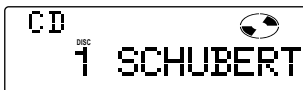
LIST

- 3** 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

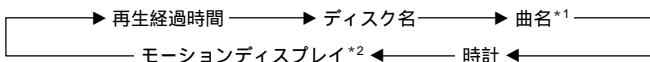
CDに名前をつける(つづき)

名前を表示するには

DSPL 再生中にDSPLボタンを押して、名前を表示する。



DSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換える。



*1 CD TEXT対応のCD機器でCD TEXTディスクを再生した場合。

*2 再生経過時間、ディスク名、曲名、時計を順に繰り返し表示します。

CD TEXTディスクにディスクメモをつけた場合はディスクメモが表示されます。CD TEXT名を表示させたい場合はSHIFTボタンを押した後、数字ボタン5(→)を押します。

ディスクメモを消去するには

1 SOURCEボタンを押してCD機器を選びます。

2 LISTボタンを表示が点滅するまで押します。

3 DSPLボタンを2秒以上押します。

4 ダイヤルを回して消したい名前を表示させます。

名前は登録されたすべてが古い順に表示されます。

5 数字ボタン6(ENTER)を2秒以上押します。

他に消したい名前があるときは、手順4、5を繰り返します。

6 最後に、LISTボタンを2秒以上押します。

「CDに名前をつける」の手順2で、すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

CDの聞きたい曲だけを選ぶ

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、ディスクメモ機能(36ページ)で名前をつけたCDだけです。

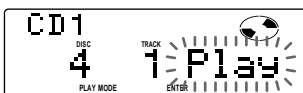
聞きたくない曲をとばすように指定する



1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



2 数字ボタン4 (PLAY MODE) を表示が点滅するまで押す。



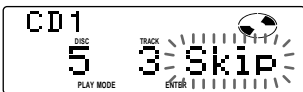
表示されない場合は、CDに名前がついていません。名前をつけてから、操作をやり直してください。



3 SEEK/AMSつまみを上下に押しとばしたい曲の番号を表示して、数字ボタン6 (ENTER) を押す。



表示が「Play」(再生する)から「Skip」(とばす)に変わります。



「Play」に戻すときは、もう1度数字ボタン6 (ENTER) を押します。

4 同様にして、とばす曲全部に「Skip」を設定する。



5 数字ボタン4 (PLAY MODE) を2秒以上押す。



6 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- ・「Skip」を設定できるのは24曲目までです。
- ・「Skip」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

CDの聞きたい曲だけを選ぶ(つづき)

曲をとばしながら聞く

- 「Bank on」→「Play」と設定した曲だけ再生する。
- 「Bank inv」→「Skip」と設定した曲だけ再生する。



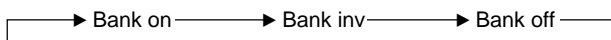
1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



2 数字ボタン4 (PLAY MODE) を繰り返し押して、Bank表示にする。



3 数字ボタン5(→)を押して再生のしかたを選ぶ。



バンク演奏が始まります。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「Bank off」表示にします。

ディスクを名前で探す

MD機器またはカスタムファイル対応のCD機器の場合

名前を見ながら好きなディスクを選べます。CDについては、ディスクメモ機能(36ページ)で名前をつけてからこの機能を使います。

LIST

1 LISTボタンを短く押す。

再生中のディスク名が点滅



LIST

2 LISTボタンを押して聞きたいディスクの名前を表示させる。

ボタンを押さないまま5秒を過ぎると、ふつうの表示に戻ります。

ENTER

6

3 数字ボタン6(ENTER)を押して再生する。

ご注意

- 「NO Disc」: ディスクが入っていない。
- 「*****」: 名前が入っていない。
- 「?」: 本機がディスク情報を読み込んでいない。

DSP

別売りのXDP-U50Dをつないで、プログラムソースにお好みの音場処理をすることができます。

別売りのXDP-U50DMK2/210EQをつないだ場合の操作は、XDP-U50DMK2/210EQに付属の取扱説明書をご覧ください。

サラウンド効果を選ぶ

DSP(デジタルシグナルプロセッサ)は音声信号をデジタル処理し、お好みの音場に変えることができます。

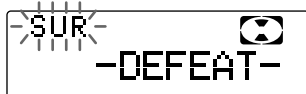
DSPには10種類のサラウンド効果が用意されています。音楽の雰囲気に合わせてサラウンド効果を選べると、車内で臨場感あふれる音を楽しめます。

種類	効果	種類	効果
ホール HALL	コンサートホールの雰囲気	オペラ OPERA	オペラハウスの雰囲気
ジャズ JAZZ	ジャズクラブの雰囲気	チャーチ CHURCH	残響音の多い教会の雰囲気
ディスコ DISCO	堅い壁と床のディスコの雰囲気	スタジアム STADIUM	野外スタジアムでのコンサートの雰囲気
シアター THEATER	映画館の雰囲気	セラー CELLAR	残響音の多い地下室の雰囲気
パーク PARK	広々とした野外の雰囲気	デフィート DEFEAT	通常の状態
ライブ LIVE	ライブハウスの雰囲気		

1 サラウンドを設定したいソース(MD、ラジオなど)を再生する。



2 SOUNDボタンを押して「SUR」表示にする。



3 ダイヤルを回して設定したいサラウンド効果を選ぶ。

設定したサラウンド効果に切り換わります。

3秒後にふつうの表示に戻ります。

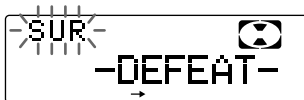
ふつうの設定に戻すには、手順3で「DEFEAT」表示にします。

サウンド効果の反射音・残響音を調節する

1 サウンドを設定したいソース(MD、ラジオなど)を再生する。



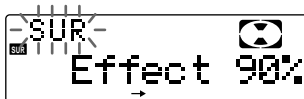
2 SOUNDボタンを表示が点滅するまで押す。



3 ダイヤルを回して設定したいサウンド効果を選ぶ。



4 数字ボタン5(→)を押す。



5 ダイヤルを回して好みのレベル(0~100%)にする。



数字が大きくなるほどライブ感は強くなります。






6 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

CDごとにサラウンド効果を登録する

ディスクごとにお好みのサラウンド効果を登録できます。この機能が使えるのは、ディスクメモ機能(36ページ)でディスクに名前をつけている場合です。

- 
1 CDを再生し、LISTボタンを2秒以上押す。
- 
2 LISTボタンを押してサラウンド効果の表示にする。


- 
3 ダイヤルを回して、好みのサラウンド効果を選ぶ(一覧は41ページ)。
- 
4 LISTボタンを2秒以上押して設定する。

ご注意

カスタムファイルに対応していないICD/MD機器を接続したときは、接続した機器のディスク情報は登録できません。

登録したサラウンド効果で再生するには

- 1** SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示します。
- 2** 数字ボタン4 (PLAY MODE) を短く押してD.File表示にします。
- 3** 数字ボタン5 (→) を押して「D.File on」表示にします。
5秒後にふつうの表示に戻ります。
ふつうの再生に戻るには、手順2で「D.File off」を選びます。

登録したサラウンド効果を変えるには

登録の手順1~4を行います。

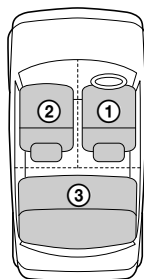
登録したサラウンド効果を消すには

登録の手順3で「-DEFEAT-」を選びます。

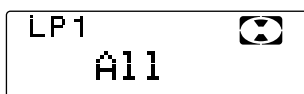
リスニングポジションを選ぶ

聞き手の位置(リスニングポジション)に合わせて、各スピーカーからの音の到達時間を調節し、快適で自然な音像定位を可能にします。座っている位置が音場の中心になるよう5つのリスニングポジションから選べます。

表示	種類	音場の中心
LP1	All	通常の状態 (①、②、③)
LP2	Front	前方(①、②)
LP3	Front R	前方右(①)
LP4	Front L	前方左(②)
LP5	Rear	後方(③)



SOUND 1 SOUNDボタンを短く押して「LP1」表示にする。



2 ダイヤルを回してリスニングポジションを選ぶ(上の一覧を参照)。

回すたびに切り換わります。

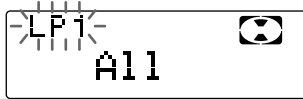
3秒後にふつうの表示に戻ります。

リスニングポジションを選ぶ(つづき)

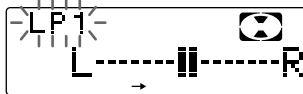
リスニングポジションを微調節する

SOUND 1 SOUNDボタンを2秒以上押す。

SOUND 2 SOUNDボタンを短く押してリスニングポジションの表示にする。



3 数字ボタン5(→)を押す。



4 ダイヤルを回して音場の左右の中心を設定する。

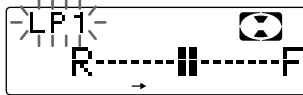


L(左)へ移動

R(右)へ移動



5 数字ボタン5(→)を押す。



6 ダイヤルを回して音場の前後の中心を設定する。



R(後ろ)へ移動


F(前)へ移動

SOUND 7 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

前後のスピーカーバランスを調節する

本機ではサラウンド効果を選んでいるときとふつうの状態 (DEFEAT) それぞれでスピーカーバランスを調節できます。

サラウンド効果を選ぶとリスニングポジションの効果を高めるために、リアスピーカーの音量が自動的に小さくなります。リアスピーカーの音量を上げたいときには「FAD」(フェーダー)を調節してください。

-  **1** 設定したいサラウンド効果を選ぶ。(41ページ)
- 2** SOUNDボタンを押して「FAD」表示にする。
- 3** ダイヤルを回してフェーダーを設定する。




R(後ろ)へ移動

F(前)へ移動

3秒後にふつうの表示に戻ります。

サブウーファーの音量を調整する

- 1** 音量を設定したいソース (MD、ラジオなど) を再生する。

-  **2** SOUNDボタンを押して「SUB」表示にする。



- 3** ダイヤルを回して音量を調整する。

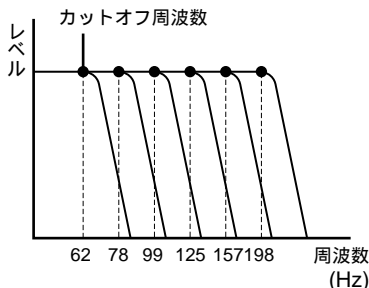
3秒後にふつうの表示に戻ります。

音量を「Sub ATT」と表示されるまで下げると、サブウーファーのカットオフ周波数は無効になります。

サブウーファーの音量を調整する(つづき)

サブウーファーのカットオフ周波数を選ぶ

サブウーファーから出力される音のうち、中高域の周波数を除きます(カットオフ)。サブウーファーは低い周波数のみを出し、明確な音場を作り出します。つないであるサブウーファーの周波数特性に合わせて、6種類のカットオフ周波数の中から選びます。たとえば、62Hzを選ぶと、62Hz以上の音が除かれます。




1 カットオフ周波数を設定したいソース(MD、ラジオなど)を再生する。

SOUND **2** SOUNDボタンを2秒以上押す。

SOUND **3** SOUNDボタンを押して「SUB」表示にする。



数字ボタン5(→)を押すと、SUB VOLUME調整モードとカットオフ周波数調整モードが切り換わります。

4  ダイヤルを回してカットオフ周波数を選ぶ。


62Hz → 78Hz → 99Hz → 125Hz* → 157Hz → 198Hz


*: 初期値

SOUND **5** 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

低音・高音の音量を調節する

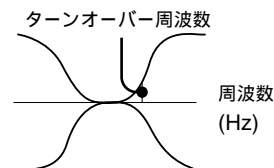
1 音質を設定したいソース(MD、ラジオなど)を再生する。

 **2** SOUNDボタンを押して「BAS」(低音)または「TRE」(高音)表示にする。

 **3** ダイヤルを回して音量を調整する。
3秒後にふつうの表示に戻ります。


ターンオーバー周波数を選ぶ

低音または高音を変化させたときの変化開始点の周波数のことをターンオーバー周波数といいます。ターンオーバー周波数は低音と高音で4種類ずつ用意されています。

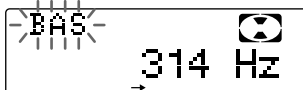


1 ターンオーバー周波数を設定したいソース(MD、ラジオなど)を再生する。

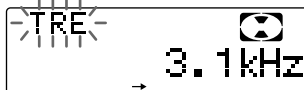
 **2** SOUNDボタンを2秒以上押す。

 **3** SOUNDボタンを押して「BAS」(低音)または「TRE」(高音)表示にする。

BAS(低音)設定の表示



TRE(高音)設定の表示



数字ボタン5(→)を押すと、BAS/TREの周波数調整モードとボリューム調整モードが切り換わりします。

 **4** ダイヤルを回してカットオフ周波数を選ぶ。

Bass(低音): 198Hz → 250Hz → 314Hz* → 396Hz

Tre(高音): 2.0kHz → 3.1kHz* → 4.0kHz → 5.0kHz

*: 初期値

 **5** 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

前回と同じサウンド効果で聞く





最後に選んだサウンド効果をソースごとに記憶させることができます。途中でソースを切り換えたり電源を切ったりしても、前にそのソースを聞いたときと同じサウンド効果およびイコライザーカーブで聞くことができます。

ご注意

TVチューナーとTVモニターまたはFM文字多重放送受信ユニットを接続した場合、TVモニターまたはFM多重用モニターに「LSM」(ラストサウンドメモリー)と表示されます。

ラインアウトのレベルを選ぶ

音が割れて聞きづらいときにラインアウトのレベルを切り換えます。

- 
1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。
- 
2 数字ボタン3 (SET UP) を押して「L.out」表示にする。
- 
3 数字ボタン5 (→) を押して設定を選ぶ(−10dBまたは−16dB)。
- 
4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

接続するアンプ(別売り)によって、ラインアウトの切り換えができない機種があります。

テレビ・ビデオ

テレビやビデオはもちろん、チェンジャーに入っているCDやMDのタイトルをテレビ画面で見することもできます。

テレビを見るには別売りのチューナーとモニターを、ビデオを見るには別売りのビデオデッキとモニターをつないでください。

テレビを見る

TVチューナーユニットとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。あらかじめ、受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選べます。

チャンネルを自動で登録する

最大10局まで登録できます。



1 SOURCEボタンを押して「TV」表示にする。



2 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



3 数字ボタン4 (PLAY MODE) を繰り返し押して、「Auto mem」を表示する。

TVモニターには「B.T.M」や「選局中」などと表示されます。



4 数字ボタン5 (→) を押す。

受信できる放送局を探しはじめ、受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。

テレビを見る(つづき)

その他の操作

チャンネルを選ぶには	数字ボタン1~10を押す。
強制的にモノラル受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいとき」(16ページ)と同じ手順を行う(ステレオ放送受信中)。
副音声を聞くには	SHIFTボタンを押してから数字ボタン4(PLAY MODE)を押して「Main」表示にする。それから数字ボタン5(→)を押して「Sub」表示にする(音声多重放送受信中)。
特定のチャンネルを登録するには	「特定の放送局を登録する」(25ページ)と同じ手順を行う(手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます)。
テレビ局に名前をつけるには	「放送局に名前をつける」(26ページ)と同じ手順を行う(手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます)。

ビデオを見る

ビデオデッキとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。



1 SOURCEボタンを押して「TV」表示にする。



2 MODEボタンを押して「Video 1」を選ぶ。

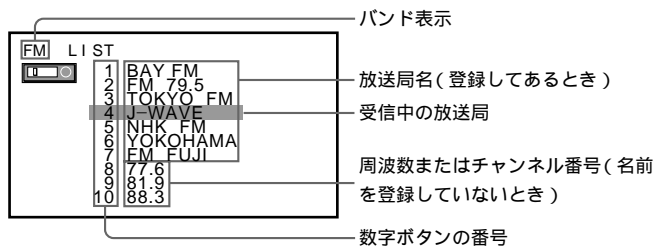
ビデオをTVモニターのVIDEO2端子につないでいるときは、「Video 2」表示に切り換えます。

3 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

ラジオ局・テレビ局の一覧を見る

登録したテレビチャンネルやラジオ局をTV画面で一覧できます。

LIST ラジオまたはテレビを受信中にLISTボタンを短く押す。



現在受信中の放送局は黄色の帯で表示されます。一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

表示を消すには、ラジオ受信中はもう1度LISTボタンを押します。テレビ受信中は、自動的にテレビ画面に戻ります。

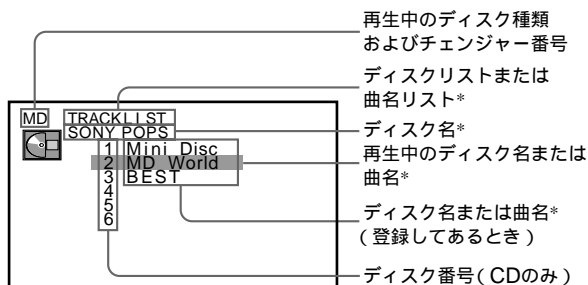
ご注意

TVチューナーXT-40Vをお使いになる場合、TVモニターに表示される内容は上記と異なります。

CD/MDの情報を見る

ディスクの名前をTV画面で一覧できます。CDについては、ディスクメモ機能(36ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

LIST 再生中にLISTボタンを短く押す。

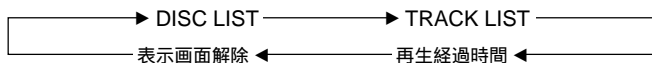


* MDの場合

現在再生中のCD/MDは黄色で表示されます。一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

表示を消すには、CD再生中はもう1度LISTボタンを押します。MD再生中はLISTボタンを繰り返し押し表示を消します。

MD再生中はLISTボタンを押すたびに以下のように切り換わります。



ご注意

- TVチューナーXT-40Vをお使いになる場合は
 - MDのカタカナのディスク名、曲名および一部の記号は表示されません。
 - 名前はすべて大文字で表示されます。
- CD TEXTの内容は表示されません。

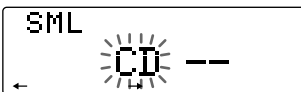
テレビやビデオを見ながらCD/MDの音を聞く



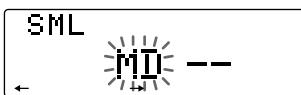
1 SOURCEボタンを2秒以上押す。



2 数字ボタン2(←)を押す。



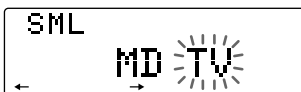
3 SOURCEボタンを押して「CD」または「MD」表示にする。



4 数字ボタン5(→)を押す。



5 SOURCEボタンを押して「TV」または「AUX」(ビデオ)表示にする。



6 SOURCEボタンを2秒以上押す。

サイマルプレイが始まります。

現在聞いているTVまたはビデオの音声をCDまたはMDの音声に切り換えたい場合にも同じ手順を行います。その場合は手順2で数字ボタン5(→)を、手順4で数字ボタン2(←)を押します。

サイマルプレイをやめるには

CDまたはMDを止めるには、手順3で「——」を選びます。

TVまたはビデオを止めるには、手順5で「——」を選びます。

ご注意

- ・ ラジオを聞きながらのサイマルプレイはできません。
- ・ サイマルプレイ中は、放送局やCD/MDの一覧は出ません。

CD/CD-ROM

別売りのCD/CD-ROMチェンジャーCDX-R61とバスシステム接続キットRC-130を本機に接続すると音楽CDに加えてビデオCDやCD-Gをコントロールして画像を再生できます。さらに画像を楽しむには、お手持ちのテレビモニターかナビシステムに接続してください。

音声を切り換える

音声多重ディスク(ビデオCDやCD-Gなどの一部)では、左右のチャンネルに別々の音声が録音されています。このようなディスクでは左右どちらか、片方のチャンネルの音を選んで左右両方のスピーカーで聞けます(このような場合音声はモノラルになります)。

本機でCD/CD-ROMチェンジャーの音声を切り換えるにはDSPLボタンによる操作ではなく以下のようにしてください。



1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます。(「SET UP」, 「PLAY MODE」など)



2 数字ボタン4 (PLAY MODE) を押して、「Stereo」を表示する。



3 数字ボタン5(→)を押して「L mono」か「R mono」を選ぶ。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

携帯電話

別売りのPDCハンズフリーユニットXCH-1000を接続すると、携帯電話を手を持たずに通話することができます。相手の音声はカーオーディオのスピーカーから聞こえ、こちらの音声はサンバイザーマイクを通して相手に伝えられます。

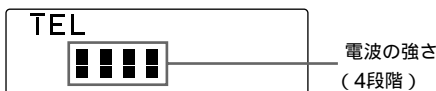
電話をかける



1 SOURCEボタンを押して「TEL」表示にする。



2 ダイヤルを回して携帯電話に登録されている電話番号や相手の名前を選ぶ。



- 本機に登録した番号にかけるには
数字ボタン(1~10)を押す。登録のしかたについては58ページを参照してください。
- 発信/着信履歴にある番号にかけるには
SEEK/AMSつまみで履歴にある番号を探す。発信/着信履歴の表示のしかたについては58ページを参照してください。
- 数字ボタンでダイヤルするには
 - ① MODEボタンを押して「Call」表示にする。
 - ② 数字ボタン(1~10)を押して番号を入力する。
数秒後に自動発信します。



3 MODEボタンを押す。

電話がつながると、通話時間が表示されます。



通話時間

ご注意

表示される通話時間は厳密ではありません。目安としてください。

電話を受ける

- 1 スピーカーと本体から着信音がなり、自動的に「TEL」に切り変わる。



電話機の設定により相手の番号を表示します。



- 2 MODEボタンを押す。



通話時間

電話がつながると、通話時間が表示されます。

ご注意

表示される通話時間は厳密ではありません。目安としてください。

電話を受けずに元のソースに戻るには

手順1の次にSOURCEボタンを押します。

その他の操作

通話が終わったら



元のソースに戻るときは、SOURCEボタンを押す。



続けて電話するときは、MODEボタンを押す。

通話相手が電話を切ったときは、自動的に元のソースに戻ります。

受話器の音量を調節するには



通話中は本機のダイヤルが音量の調節になります。ダイヤルを回し、希望の音量に調節してください。

本機に電話番号を登録するには



1 SEEK/AMSつまみ、またはダイヤルで希望の電話番号を表示させる。



2 登録させたい数字ボタンを2秒以上押す。

発信・着信履歴を表示するには



SEEK/AMSつまみで発信・着信履歴をそれぞれ最大10件まで呼び出します。

ご注意

- 次の場合、通話が途切れます。
 - SOURCEボタンやMODEボタンを押したとき
 - サービスエリア外や電波が届かない所へ移動したとき
- 携帯電話で通話する際は、ハンズフリーユニットから外さないでご使用になれません。
- 携帯電話をハンズフリーユニットから外すと、発信/着信履歴が消去されます。

その他の設定

次の設定ができます。

- 「RCV」→ 電話を受けられないようにする(着信拒否設定)
- 「History」→ 発信・着信履歴を消去する(履歴クリア)
- 「Alarm」→ 着信音を消去する



1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



2 数字ボタン4(PLAY MODE)を繰り返し押し設定したい項目に切り換える。

RCV → History → Alarm



3 希望の設定にする。

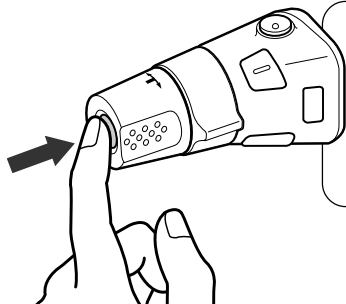
- 「RCV」 → 数字ボタン5(→)を押して「RCV ON」または「RCV OFF」を選ぶ。
- 「Alarm」 → 数字ボタン5(→)を押して「Alarm」または「NO Alarm」を選ぶ。
- 「History」→ 数字ボタン6を2秒以上押して「Clear」を表示する。



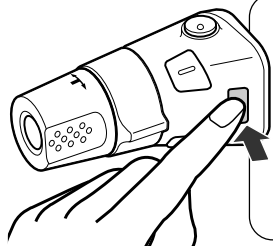
4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ロータリーコマンダーでの操作

押すと (ソース SOURCEボタン、 モード MODEボタン)



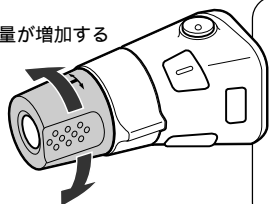
SOURCEボタンを押すと
ソースが切り換わる。
繰り返しSOURCEボタンを押して「TEL」
を選ぶ。



MODEボタンを押すと
電話をかける時：ダイヤルをはじめる。
電話を受ける時：着信する。
本機の数字ボタンでかけるときは、MODEボタンを
押してから、数字ボタンを押す。

回すと (ボリューム VOLつまみ、 シーク/エーエムエス SEEK/AMSつまみ)

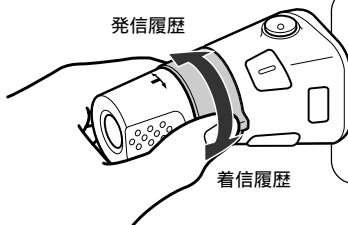
音量が増加する



音量が減少する

VOLつまみを回すと
通話前：携帯電話に登録されている電話番
号を呼び出す。
通話中：スピーカーの音量を調節する。

発信履歴



着信履歴

SEEK/AMSつまみを回すと
発信・着信履歴をそれぞれ最大10件まで呼
び出す。

システム接続をするときのご注意

XDP-U50DMk2とCSX-510EQをシステムアップ時のサブウーファークットオフ周波数について

本機とグラフィックイコライザー付きユニットCSX-510EQおよびDSPコントロールユニットXDP-U50DMk2を接続したシステムでお使いのとき、接続方法によってはサブウーファークットオフ周波数はCSX-510EQで設定されている3種類のみになります。この場合は、CSX-510EQ側の3種類の中から設定するか、または接続方法をお確かめください。接続方法について詳しくはXDP-U50DMk2に付属の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。

ボイスガイドの機能について

次の別売り製品を接続すると、ボイスガイド機能は動きません。

- DSPコントロールユニット
XDP-U50D
- DSPコントロールユニット
XDP-U50DMk2
- グラフィックイコライザー付DSP
XDP-600EQ、XDP-210EQ

グラフィックイコライザー付きユニットCSX-510EQまたはCSX-88EQをシステムアップ時のユーザープリセットメモリーについて

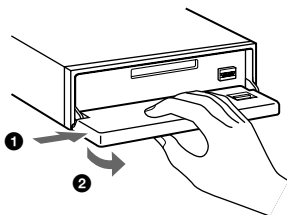
ユーザープリセットのMEMORY1、2、3にはそれぞれ1種類のイコライザーカーブを登録することができます。1つのメモリー番号に2種類以上登録すると、以前に登録したイコライザーカーブは消えてしまいます。

使用上のご注意

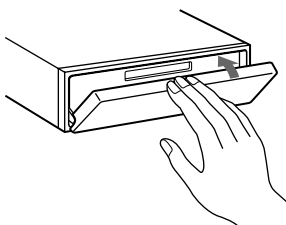
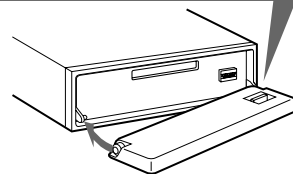
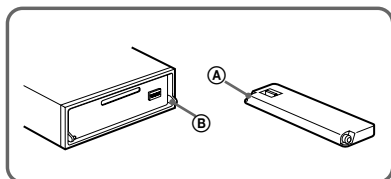
本機の取り扱い

フロントパネルについて

取りはずすときは必ず、OFFボタンを押し、電源を切ってから、OPENボタンを押してフロントパネルを開けてください。フロントパネルを右に押しながら手前に引くと外れます。



取り付けるときは、フロントパネルの④と本体の⑥部分を合わせて、ロックされるまで押し込み閉じてください。

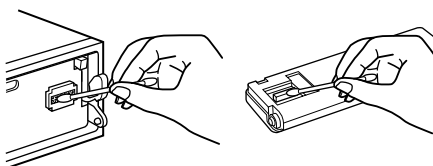


ご注意

- 取りはずしたフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押したり、強い力をあたえないでください。

コネクターのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

液晶表示について

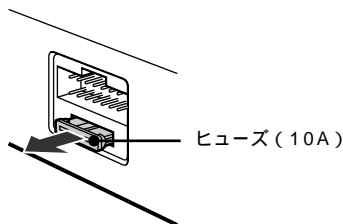
極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示にもどります。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、MDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、MDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申し付けください。

MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

良い音で聞くために

車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかからないように十分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。



MD内部に直接触れない

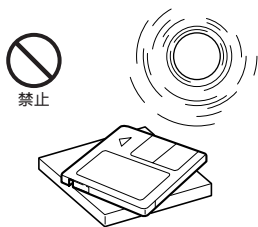
シャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。



使用上のご注意(つづき)

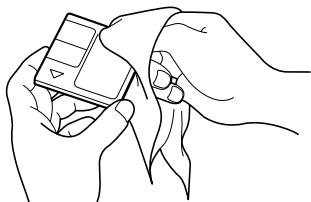
保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



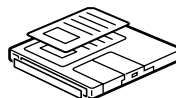
ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

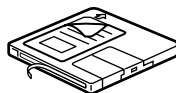
- 指定の場所に貼ってください。



- 重ねて貼らないでください。



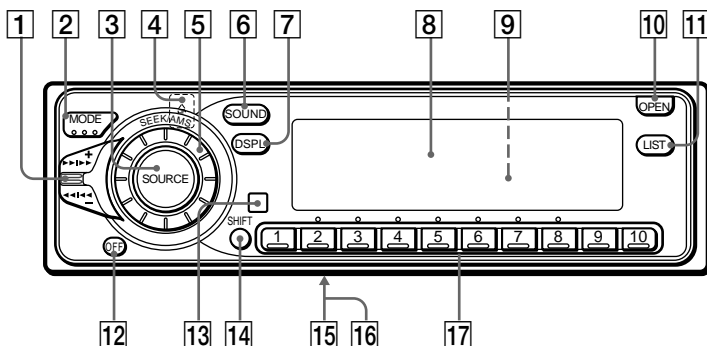
- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



各部のなまえ

本体

内のページに詳しい説明があります。



① シーク/エーエムエス
SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局)

つまみ ⑬⑭⑮⑲⑳㉑㉒㉓㉔

② モード
MODE ボタン ⑩⑮⑲㉓㉔⑤⑥⑦⑧⑨

③ ソース
SOURCE (チューナー/CD/MD/
映像切り換え) ボタン
⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔

④ イジェクト
▲ (MD取り出し) ボタン ⑬

⑤ ボリューム / サブ / バス / トレブル / バランス / フェーダー
VOL/SUB/BAS/TRE/BAL/FAD

(音量調節) ダイアル

⑧⑫⑲⑳㉑㉒㉓㉔④⑤⑥⑦⑧⑨

⑥ サウンド
SOUND (音質調整) ボタン

⑳㉑㉒㉓㉔④⑤⑥⑦⑧⑨

⑦ ディスプレイ
DSPL (表示切り換え) ボタン

⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔

⑧ 表示窓

⑨ リセットボタン ⑦

⑩ オープン
OPEN ボタン ⑪⑬

⑪ リスト
LIST ボタン

CD/MD ⑳㉑㉒㉓

DSP ④⑤

テレビ ⑤⑥⑦

ラジオ ⑲⑳㉑㉒

⑫ オフ
OFF (電源切り) ボタン ⑬

⑬ リモコン受光部

⑭ シフト
SHIFT ボタン

PLAY MODE

⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔④⑤⑥⑦⑧⑨

REP ⑮⑯⑰

SET UP ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮

SHUF ⑮⑯

⑮ パワーセレクトスイッチ (底面)

くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

⑯ 音声出力/入力切り換えスイッチ (底面)

くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

⑰ 数字ボタン1～10

CD/MD ④⑤

テレビ ⑤⑥

ラジオ ⑲⑳㉑

携帯電話 ⑤⑥

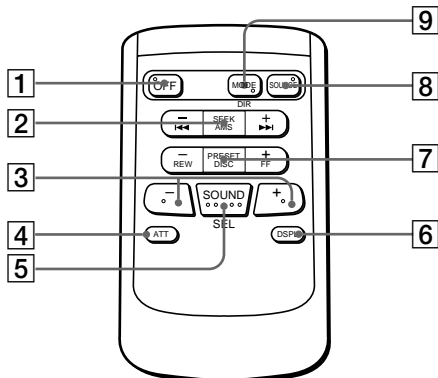
次のページへつづく

付
録

各部のなまえ(つづき)

ワイヤレスリモート コマンダーRM-X47

(別売り)



- | | |
|---|---|
| 1 オフ (電源切り) ボタン | 6 ディスプレイ
DSPL (表示切り換え) ボタン |
| 2 シーク/エーエムエス
SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局) ボタン | 7 プリセット/ディスク
PRESET/DISC ボタン |
| 3 (+) (-) ボタン | ラジオ... 登録した局を選局 |
| 4 ATT (音切り) ボタン | CD/MD... ディスク交換 |
| 5 サウンド/セレクト
SOUND/SEL (音量調節/音質調整) ボタン | 8 ソース
SOURCE (FM/AM/CD/MD/映像切り換え) ボタン |
| | 9 モード
MODE ボタン |

ご注意

本機側面のパワーセレクトスイッチを⑨にしている場合は、本機の電源が入っていないとワイヤレスリモートコマンダーで本機を操作することはできません。このときは1度本体でラジオを受信するなどしてから操作してください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 音量を上げてください。• ATT機能を解除してください。• スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
	電源OFF時に時計表示にならない。	<ul style="list-style-type: none">• パワーセレクトスイッチが①になっている。 パワーセレクトスイッチを④にしてからリセットボタンを押してください(アクセサリポジションのある車のみ)。• リセットボタンを押した(パワーセレクトスイッチが④のときのみ)、TUNERボタンなどで電源を入れてください。• デモモードに入っている。 SOURCEボタンを押してからOFFボタンを押してください。
	ラウドネスの効果がかからない。	大音量になっている。音量を下げてください。 ラウドネス効果は小音量時だけかかります。
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">• リセットボタンを押した。• 動作電源コードまたはバッテリーをはずした。• 電源コードが正しく接続されていない。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている(32ページ)。
MD	MDが入らない。 MDを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none">• すでに別のMDが入っている。• MDを誤った向きに入れようとしている。 レーベル面を上にして矢印の向きに入れてください。
	音がとぶ。	<ul style="list-style-type: none">• 本機の取り付け角度が20°を越えている。• 本機がしっかりしていない所に取り付けてある。• ごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。
	ディスク名・曲名がカタカナ表示されない。	<ul style="list-style-type: none">• MD機器がカタカナ表示に対応していない(33ページ)。• 一部の機種種の録音機で編集されたMDではカタカナ表示されないことがあります。
	ディスク名・曲名が表示されない。	別売りのTVチューナーとTVモニターを接続したときLIST表示はTVモニターのみに表示されます(52ページ)。

次のページへつづく

付
録

故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
ラジオ/テレビ	受信できない。 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> カーアンテナとの接続を確認してください。 オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントロールリードをANT/REM(青)コードに接続してください。 周波数を確認してください。 「If Auto」が「Wide」になっている。 →「Narrow」にしてください(15ページ)。
	SEEKつまみを押し上げ/下げしても聞きたい局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> 「Local on」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。表示を消してください(16ページ)。 電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSつまみを押し上げ/下げつづけて周波数を合わせてください。
CD	音がとぶ。音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。 ディスクが傷ついている。
	ディスク名・曲名が表示されない。	別売りのTVチューナーとTVモニターを接続したときLIST表示はTVモニターのみに表示されます(52ページ)。
DSP	音が出ない。 音が小さい。	<p>XDP-U50DまたはXDP-U50DMk2(別売り)を接続した場合は、リスニングポジションの設定の効果を高めるためにリアスピーカーの音量が自動的に小さくなります。</p> <p>DSP機能「入/切」それぞれの状態の前後スピーカーバランス設定をしてください。</p>
TEL	通話相手の音声聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> スピーカーの音量が「0」または最小になっている。 →マスターユニットのVOLダイヤルで音量を調整してください。 走行ノイズなど、周囲の雑音が大きいき、マイクより音声入力があつたものと認識して通話相手の音声を閉じてしまうことがあります。
	ダイヤルしたが話中音がしてつながらない	<ul style="list-style-type: none"> 電話番号が間違っていないか。(市外局番を忘れていませんか。) 通話相手が圏外にいる。 電波の弱いところにいる。 →サービスエリア内でダイヤルしてください。 アンテナを十分に伸ばしていますか。
	MODEボタンまたはTELボタンを押しても発信できない	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話の発信制限やメモリ制限がかかっていますか。 携帯電話の簡易ダイヤルロックがかかっていますか。

症状	原因・処置
携帯電話機に登録されたメモ リが呼び出せない	携帯電話の短縮ダイヤル使用制限などがかかっていませんか。
電話がかかってこない	携帯電話の着信制限がかかっていませんか。
電話がかからない	回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。 →しばらく待ってからおかけ直しください。
「No phone」と表示され る。	携帯電話が接続されていません。 →携帯電話を接続してください。

CD/MDのエラー表示

CDやMDが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank*	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
Error	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
HighTemp	周囲の温度が50°C以上あり再生できない。	車内の温度が下がるのを待つ。
NO Disc	機器にディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NG Discs	CD/MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
NO Mag	ディスクマガジンが機器に入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、機器に入れる。
Not Ready	MD機器MDX-40のフロントパネルが開いている。	フロントパネルを閉じる。(MDX-40のみ)
PushReset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

* ディスクマガジン内でエラーを起こしたディスク番号が表示されます。

保証書とアフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

MDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	5 ~ 20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76 ~ 90MHz(テレビ1 ~ 3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30 ~ 15,000Hz
SN比 50dB感度(IHF)	18dBf
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	65dB(ステレオ) 68dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.7%(ステレオ) 0.4%(モノラル)
チャンネルセパレーション	35dB以上(1kHz)

AM

受信周波数	522 ~ 1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30 μ V

アンプ部

適合インピーダンス	4 ~ 8
最大出力	45W \times 4(4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	フロント/リヤ音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール サブウーファー/音声出力端子
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子 ATT入力端子 イルミコントロール入力端子
本体寸法	約178 \times 50 \times 180mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178 \times 50 \times 160mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.3kg

付属品

ロータリーコマンダーRM-X4S
(1)

取り付け/接続部品(一式)
取扱説明書(一式)
ソニーご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

別売品

ワイヤレスリモコンRM-X47
CDチェンジャー
CDX-805(10枚入)
CDX-715(10枚入)
CDX-T605(6枚入)
CDX-T602(6枚入)
MDチェンジャー
MDX-62など
スペアナ付きCDプレーヤー
CSX-310
モービルカラーTV
XTL-770W
ソースセクター
XA-C30
EQ付きCDプレーヤー
CSX-510EQ
FM多重ユニット
FMX-88
PDCハンズフリーユニット
XCH-1000
バスケーブル(RCAピンコード
付属)
RC-61(1m)
RC-62(2m)
RCAピンコード
RC-63(1m)
RC-64(2m) RC-65(5m)

本機は、ドルビーラポラトリーズライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

あ行

イントロ 17
エラー表示 69
音質
 サラウンド 41~43
 残響音 42
 反射音 42
音量 12、31

か行

カスタムファイル 36~39
カットオフ周波数 47
携帯電話 56~60
高音 31

さ行

サイマルプレイ 54
サブウーファー 31、46、
47
サラウンド 41~43
 DSPカスタムファイル
 43
CD/MD 33
 名前で探す 40
 名前をつける 36
 名前を表示する 37
CD-G 55
シャッフル 18、35
ステレオ放送 16
スピーカーバランス 31

SET UP

Amber 32
A.Scr1 32
Beep 32
Clock 8、32
Contrast 32
Dimmer 32
D.Info 32
Green 32
Loud 32
LPF 32
RM 32
Voice 32

た行

ターンオーバー周波数 48
DSP 41
DSPカスタムファイル 43
低音 31
ディスクメモ 36
デジタルシグナル
 プロセッサー 41
テレビ 50
 チャンネルの一覧 52
 名前をつける 51
 登録 51
電源 13
登録
 自動登録 10
 テレビチャンネル 50
 ラジオ局 10、25
道路交通情報 25
時計 8
トラブル 31

な行

名前
 消去する 27、37
 つける 26、36
 表示する 14、16、27、
 33、37

は行

バス 31
バランス 31
バンク 38、39
ビデオ 51
ビデオCD 55
ヒューズ 63
表示窓
 CD/MD 14、33、37
 ラジオ 16、27
フェーダー 31
プログラムメモリー 19~24
ベストチューニングメモリー
10
ボイスガイド 6
ボタンの音 32
ま、や行
モノラルモード 16
ら、わ行
ラジオ 10、15、26
 局の一覧 52
 自動選局 16
 名前で探す 28
 名前をつける 26
 名前を表示する 27
 登録 15、25
ラストサウンドメモリー 49
リスニングポジション 44
リセット 7
リピート 18、34
リモコン
 ロータリーコマンダー
 29、30
ワイヤレスリモコン 66

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客さま相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

